

記 録

次のとおり学内研究発表会及び公開講座を開催した。

1 学内研究発表会

平成29年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会

- (1)日 時 平成29年 7月 5日
- (2)場 所 管理図書館棟大会議室
- (3)演 題 12演題

<p>看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果 (第2報) ○村上明美¹⁾、谷口千絵¹⁾、高橋恭子²⁾、山田光³⁾、山田明美⁴⁾ ¹⁾看護学科 ²⁾社会福祉学科 ³⁾横浜国立大学教育人間科学部 ⁴⁾保土ヶ谷看護専門学校</p>
<p>自閉症者支援の形成に関する研究—日本におけるTEACCHプログラムの課題整理— ○岸川学 (社会福祉学科)</p>
<p>地域生活を支援する福祉専門職の医療と介護の連携における現状と課題 ○行實志都子 (社会福祉学科)</p>
<p>作業に焦点を当てた介入の作業療法の効果検証—傾向スコアマッチングによる検証— ○長山洋史¹⁾、松富綺璃子²⁾、杉本美和³⁾、友利幸之助⁴⁾、長谷龍太郎¹⁾ ¹⁾リハビリテーション学科作業療法学専攻 ²⁾横浜新都市脳神経外科病院 ³⁾日本海総合病院酒田医療センター ⁴⁾東京工科大学医療保健学部</p>
<p>2型糖尿病勤労男性の飲酒指導におけるカーボカウントの指導効果 ○佐野喜子¹⁾、志村真紀子²⁾、坂根直樹³⁾ ¹⁾栄養学科 ²⁾(株)ベネフィットワン・ヘルスケア ³⁾京都医療センター臨床研究センター</p>
<p>カリックスアレーンと水素結合部位を有する蛍光性リガンドを用いた科学物質の簡便な検出法の開発に関する検討 ○佐竹弘行 (人間総合・専門基礎担当)</p>
<p>出産後に復職を予定している女性に対する母乳育児支援プログラムの開発 ○中田かおり (看護学科)</p>
<p>杖の使用が歩行中の注意需要に及ぼす影響 ○鈴木智高¹⁾、小河原格也²⁾、菅原憲一¹⁾ ¹⁾リハビリテーション学科理学療法学専攻 ²⁾リハビリテーション学科作業療法学専攻</p>
<p>地域福祉の法的構造に関する研究 ○西村淳¹⁾ (社会福祉学科)</p>
<p>「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究—初年度の経過と課題— ○高田健人¹⁾、樋口良子¹⁾、飯田綾香¹⁾、長瀬香織¹⁾、徳永美香¹⁾、杉山みち子¹⁾、中村丁次²⁾ ¹⁾栄養学科、²⁾学長</p>
<p>チューブリン翻訳後修飾の制御による感覚繊毛の形態制御機構 ○木村芳滋¹⁾ (人間総合・専門基礎担当)</p>
<p>院内学級の現状と看護職の認識 ○伊関敏男¹⁾、佐藤泰幸²⁾、白石礼子²⁾、岸良俊弘²⁾ ¹⁾看護学科 ²⁾神奈川県立精神医療センター</p>

2 公開講座

ヒューマンサービス公開講座

(1)日時・テーマ・担当講師・会場

春 期 日 時 5月28日(日) 13時～16時30分

メインテーマ 学ぶことは生きること

講演

○「健康寿命の延伸とヒューマンサービス」

中村 丁次 学長

○「老化を学んでよりよく生きる～若い時から介護予防の知識を～」

隆島 研吾 教授 (リハビリテーション学科)

○「『核酸』をいろんな視点でみてみよう～これって生物？化学？物理？

それとも…？」

佐竹 弘行 講師 (人間総合・専門基礎担当)

会 場 かながわ県民センター 2階ホール

秋 期 日 時 10月14日(土) 13時～16時30分

メインテーマ 災害と保健福祉

講演

○「災害から母子を守る」

吉田 穂波 准教授

○「備えあれば憂いなし—日々の生活の中で災害に対する食の備え—」

藤谷 朝実 准教授 (栄養学科)

○「災害時における心の支援・物質的な備え」

川村 隆彦 准教授 (社会福祉学科)

会 場 神奈川県立保健福祉大学 講堂

(2)参加費：無料

(3)共 催：神奈川県立保健福祉大学を支援する会

(4)広 報：神奈川新聞「県民の窓」欄 神奈川県三浦半島だより「INFORMATION」欄 等